

小林市立図書館
問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜

～児童書～



『大人も読みたい
こども歳時記』
監修：長谷川 權
編著：季語と歳時記の会
発行：小学館

～一般書～



『キッチン・セラピー』
著者：宇野 碧
発行：講談社

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
開館時間 9時～17時
【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

寄贈図書の受け取りを 停止しています

いつも図書の寄贈をいただき、ありがとうございます。

寄贈いただいた図書は、随時整理・登録を進めておりますが、大変多くの寄贈をいただき、保管スペースが満杯になっている状況です。

保管スペースにある図書の整理・登録のため、令和6年3月末まで寄贈受取を停止させていただきます。ご了承ください。

「お持ち帰り本」コーナー

寄贈いただいた本の中で、複本や書き込みのあるものは「お持ち帰り本」として提供しています。「お持ち帰り本」は自由にお持ち帰りいただけます。

vol.9

健康のまちづくり拠点施設整備 つうしん

新市民体育館建設予定地の地質調査を開始

地質調査（ボーリング調査）では、地下の深い地点まで掘り進め、地質を調査します。

1 地質調査って何をするの？

新市民体育館建設予定地の地中内部の性質を把握するために実施します。この調査を行うことで、安全で安心な災害に強い体育館を建てることができます。

2 地質調査はなぜ必要なのか？

軟らかい土の上に建物を建てた場合、建物が傾いたり沈んだりすることがあります。これは、土が建物の重さに負けて、圧縮されることが原因です。「安全に保つためには何をしなければならないか」を考えるために地面の中を「診断」する必要があります。

3 地質調査で何がわかるの？

地質調査を行うと、地面の中の地層構成や建物を支える硬い地層がどれくらいの深さにあるかが分かります。これにより、新市民体育館の基礎の形式をどのようにしたら良いかを考えることができます。



▲建設予定地での調査の様子

●問=建設課
TEL 23-0311

Carbon豆知識

市は2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。

脱炭素のための行動3

衣類や本、おもちゃ、日用品などのリユース品の購入や、マイバッグやマイボトルの使用、エコ製品の購入などで今ある製品を長く使い、モノの一生を意識することは、サーキュラーエコノミー（循環経済）と呼ばれ、脱炭素につながります。

また、ごみの分別を行うことで、モノを大切にすることが意識できます。全国ではごみを45種類以上に分別し、リサイクル率が8割を超える自治体も存在します。小林市の家庭ごみのリサイクル率は6割弱。暮らしやすい環境を将来世代へ受け継いでいくため、私たち一人ひとりがリサイクル率向上を目指してごみの分別に取り組みましょう。

3カ月にわたり「脱炭素のための行動」について掲載しました。自分の生活に合わせ、無理をしない範囲で一つずつ少しずつ、始めてみませんか。



●問=生活環境課 TEL 23-8122

こはまち 便り

小林まちづくり株式会社
〒886-0008
小林市本町16
8時30分～17時30分
(土日祝日除く)
TEL 27-3280
FAX 27-3257



出の山淡水魚水族館が大にぎわい！

出の山淡水魚水族館では、国内外の淡水魚100種類、1200匹の淡水魚を展示しています。8月11日～15日にはお盆イベントを開催し、珍しい淡水魚を見て多くの方に楽しんでいただきました。イベントでは、ドクターフィッシュ体験やビンの中の海の世界を作るウォータードーム作り、ベタ（熱帯魚）やウーパールーパー、カプトムシなどの販売を行います。期間中は1800人を超えるお客さまにお越しいただきました。

また水族館外では、レンタルポットやテント屋台を出店したほか、いこいの家のキャビアとダイワファームのソフトクリームを合わせたお盆限定「キャビアのセソフトクリーム」を販売しました。小林市のキャビアを初めて食べて皆さん感動されました。使用したキャビアは、いこいの家の店舗や市公認通販サイト「ンダモシタンマルシェ」で購入できます。



QRコード 小林市の特産品を扱う市公認通販サイト「ンダモシタンマルシェ」、写真 珍しい淡水魚に興味津々の来場者、写真 お盆限定で販売した「キャビアのセソフトクリーム」

9月24日～30日は「結核予防週間」



結核は、結核菌が原因で、主に肺に炎症が起きる病気です。今でも全国で年間1万2千人もの患者数が報告され、約1,900人が亡くなっています。

患者数に占める割合は、60歳未満が3割、60歳以上が7割で、特に発症者の4割が80歳以上。県内では結核の集団感染が報告され、罹患率はいまだに高い状況です。

感染症法では、高齢者における結核の発病を早期に発見するために、65歳以上の人には年1回結核健診を受けることを義務付けています。

市では、公民館など市内43カ所で無料の結核健診を行っていますので、今年度結核健診をまだ受けていない人は、10月の二次日程でぜひ受診してください。

元気の知恵袋

●問=健康推進課 TEL 23-0323

| 日付 | 場所 | |
|------------|------------------------|----------------------------------|
| 10月24日(火曜) | 文化会館駐車場 9時～11時30分 | 真方地区体育館 13時30分～15時 |
| 10月25日(水曜) | 三松地区体育館 9時～11時30分 | 市民体育館 13時30分～15時 |
| 10月30日(月曜) | 紙屋出張所(やすらぎ荘) 9時～10時 | 三ヶ野山地区体育館 10時30分～11時30分 |
| | | 野尻町保健福祉センター (友愛会館) 13時30分～15時 |